

質問・質疑

この定例会では、3月2日・3日・4日の3日間に、13名が登壇し、31項目にわたり、質問・質疑が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

質問・質疑項目(発言順)

※印が掲載した項目です。

- 成田 正和 議員 ※1 平成22年度当初予算について
- 山本 シモ子 議員 ※1 市長の施政方針について
- 野村 武文 議員 1 労働者の充実について
- 山本 シモ子 議員 ※1 高齢者の置かれている生活実態について
- 森田 健資 議員 ※4 3 2 平成22年度施政方針について
- 山本 シモ子 議員 ※1 平成22年度教育行政方針について
- 山本 シモ子 議員 ※1 平成22年度当初予算について
- 山本 シモ子 議員 ※1 成人式について
- 山本 シモ子 議員 ※1 住宅施策について
- 山本 シモ子 議員 ※1 環境施策について
- 山本 シモ子 議員 ※1 教育行政方針について
- 山本 シモ子 議員 ※1 雅春 議員
- 山本 シモ子 議員 ※1 施政方針及び予算について
- 山本 シモ子 議員 ※1 新庁舎における危機管理について
- 山本 シモ子 議員 ※1 信洋 議員
- 山本 シモ子 議員 ※1 高効率エネルギーシステム設置補助事業制度について
- 山本 シモ子 議員 ※1 歴史と文化を大切にしまちづくり事業について
- 山本 シモ子 議員 ※1 パブリックコメントへの新たな提案
- 山本 シモ子 議員 ※1 交通指導員について
- 山本 シモ子 議員 ※1 新庁舎について
- 山本 シモ子 議員 ※1 行男 議員
- 山本 シモ子 議員 ※1 防犯、防災対策について
- 山本 シモ子 議員 ※1 公共施設の保守管理について
- 山本 シモ子 議員 ※1 ひろみ 議員
- 山本 シモ子 議員 ※1 介護保険について
- 山本 シモ子 議員 ※1 子ども読書活動の推進について
- 山本 シモ子 議員 ※1 周二 議員
- 山本 シモ子 議員 ※1 幼児2人同乗用自転車購入費補助事業について
- 山本 シモ子 議員 ※1 新農業政策について

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧いただけます。
刈谷市議会ホームページ：<http://www.city.kariya.lg.jp/gikai/>
「会議録検索システム・議会映像」のページからご覧ください。

成田 正和 議員(一括質問一括答弁方式) 平成22年度当初予算の特色

―歴史や文化を感じる―

問 一般会計の予算額が減少し厳しい財政状況の中、どのような特色を持って予算を編成したのか。

答 税収が落ち込む中、経費の無駄を省き、財政調整基金からの繰入金や市債の減額に努め、健全財政に取り組んでいる。その中でも、安らぎや生きがい重点をおき、子育て支援や高齢者支援といった民生費や教育関係のソフト事業の充実を図った。また、潤いや彩りの充実に向けて動き出す事業として、亀城公園の再整備や歴史博物館の建設のための計画づくりの予算を計上している。

山本 シモ子 議員(一括質問一括答弁方式) 低所得者用住宅対策と核兵器廃絶を求め

―戦争の惨禍を風化させないよう、着実に事業を継続する―

問 低所得者に対する住居対策をどう考えているか。

答 社会経済情勢の変化に伴い、多様な住宅困窮者は生じているのは認識している。今後、家族構成に応じて住居規模を変えることにより、家賃を低く抑え、戸数増を図るよう検討していきたい。

問 個人住宅リフォームの支援策をどう考えているか。

答 個人住宅の一般的なり方も、その所有者の責務と考え、公的資金を投入する補助には適さないと考えている。

問 市民と中小業者の暮らしを応援するための対策はどう進めたいか。

野村 武文 議員(一括質問一括答弁方式)
維持管理費増による福祉施設への影響懸念

―維持管理費を財政計画に見込み、無理がないよう事業推進―

問 本市では各種の立派な公共施設を市民に活用いただいているが、維持管理費はどれくらいかかるのか。

問 亀城公園周辺の整備や歴史博物館に対して市長はどう考えているのか。

答 これからのまちづくりは、住む人が自分のまちへ魅力や誇りを感じることができるところが大切であり、まちが持つ歴史を大切にしていきたいと考え、亀城公園を歴史や文化を感じることで落ち着いた空間として整備していきたいと考えている。今回、亀城公園周辺の整備が明確化されたことにより、まちづくりのための新たな目的にあった基金を設置し事業を計画的に推進していく予定である。

問 中小企業の資金繰りを支援するため融資制度の認定要件が緩和される中、信用保証料の補助限度額や補助率を引き上げている。

問 オバマ大統領のプラハ演説により世界では核兵器廃絶に向けた意思表示が見られるが、本市ではどう考えているか。

答 厳しい社会情勢の中、市民生活をしっかりと守ることが、国において採択された核兵器廃絶決議の理念に適合するものと考え、戦争の惨禍を風化させないよう努めていくことが重要な務めだと考えている。



ウィングアリーナ刈谷

費負担になると思われるが、他の福祉施策等に影響はないか。

問 他市のように決算総額に占める扶助費の割合を約14%に組み替えを行えば市民が助かる豊かなまちを実現できると思うが、20年度決算及び22年度予算に占める建設事業費と扶助費はどのような割合か。

答 最近の主な施設では、グリーングラウンド刈谷を含めたウィングアリーナ刈谷が約2億5千万円、総合文化センターが約4億9千万円、北部生涯学習センターが約1億1千万円となっている。

問 主な施設だけでも重い経費負担は減少している。

森田 健資 議員(一括質問一括答弁方式)
学校現場における様々な課題に向けて

―一人一人が認められる学校づくりを目指す―

問 ゆとり教育により学習時間が大幅に減り、世界の中でも学力後進国となりつつあるとともに、いじめや不登校も顕在化しているが、学校現場の喫緊の課題を教育委員会はどのように考えているか。

答 教育現場には多種多様な課題があるが、体力の低下、学習意欲の低下、不登校については全国的な問題となっており、本市でも同様に子供たちの喫緊の課題として認識している。

問 学校現場の喫緊の課題への対策として、どのような指導理念を持っているか。

答 学校は仲間づくりの大切な場所であり、コミュニケーション能力の育成が重要である。コミュニケーション能力の育



仲間との生活の中で、健やかに成長

成には、生活集団として、多くの子供たちとの係わりあえるある程度の学級の大きさ等が重要であるが、学習集団としては、きめ細かい指導ができるよう複数の指導者による少人数指導に

することが、発達障害児など特別な支援を要する子供たちには有効である。
いずれにしても子供たちは、

学力だけで評価されるのではなく、様々なことで評価され、一人一人が認められる学校づくりが大切であると考えます。

白土 美恵子 議員（一問一答方式）
命の安全を確保するよ様な住宅政策を
—補助制度を見直し耐震化促進を図っていく—

答 収入超過者などに早期退去を促すとともに、戸数増の検討もしていきたい。

問 木造住宅の耐震改修補助費について、改修必要件数と工事実施件数及び補助金額と個人負担額はどうなっているか。
答 対象となる木造住宅約1万件の中で、耐震診断により155件のうち、実際に工事を行ったのは191件である。補助額については、工事費の2分の1で、上限60万円、平均自己負担額は120万円程度である。



耐震改修を促進し、災害から守る

問 市営住宅の多回脱落落選者優遇措置について、優遇方法と対象者数はどうなっているか。
答 脱落回数に応じ抽選玉数を増やすもので、対象者は22年3月の募集では5名だが、23年度以降は25人程度になると見込まれる。

問 入居希望者に対し、空き家戸数が少ないと思うがどうか。
答 入居希望者が増えるよう、

山内 智彦 議員（一問一答方式）
教育行政方針から見る今後の取り組みについて
—新学習指導要領の理念を周知徹底し、着実に実践—

問 平成22年度の教育行政方針は太田教育長の思いが詰め込まれた初めての方針であると思うが、昨年度の教育行政方針と比較し、異なる点は何か。
答 生きる力を育成するという教育方針の基本理念は変わらず、各種事業の見直しや拡充を図っている。

また、文部科学省の調査報告では、体力・運動能力の低下傾向が、

新しい学習指導要領は生

きる力を育むという、これまでの理念を継承していることから適切な改訂だと評価している。理念は従来の義務教育が求めてきたものと変わっていないが、理念の具現化として、授業時間

星野 雅春 議員（一括質問一括答弁方式）
小道公園整備事業のねらい
—生活に密着し、地域の意向に応じた公園づくりを行う—

問 ワークショップ方式を導入した小道公園整備事業は、権限や財源を地域にゆだねる地域主権が発展するための一つの実験場と考えるが、ねらいは何か。
答 小道公園は徒歩での移動範囲を利用圏域とする街区公園であり、休息、レクリエーション、防災といった生活に密着した公園として地域住民の意向に



市民に親しまれ、安心を与える公園に

安部 周一 議員（一問一答方式）
新庁舎における危機管理
—防災会議設置など災害に備えるほか、情報文書のセキュリティを確保—

問 新庁舎における防災対策本部はどう整備されるのか。
答 防災対策本部となる防災会議室を設置し、防災情報ネットワークシステムや排水機場監視システムを活用するほか、全回瞬時警報システム、通称「アラート」も整備する。

問 市民へ災害情報はどうのよ

数や指導内容の増加、新しい教科の新設などが掲げられている。この変化に伴い年間指導計画や評価基準表の作成及び見直しを行い、改定の趣旨の周知徹底と着実な実践に取り組んでいく。

問 公園づくりに進めていく。また、共存・協働の観点からも、自分たちの公園として愛着を持てるように、ワークショップによる住民参加型の公園整備計画を策定する。
問 公園づくりに砂場や遊具の設置などについて、いろいろな制限があると思われる。花壇や生垣程度の市民協働でなく、地域住民の自由度のある程度保障した公園づくりとする。ことができるか。
答 ワークショップによる公園計画を策定するということは、多様化する住民ニーズに対応し、周辺の状況や住民の年齢構成などの違いによる公園機能の特色にも反映できると考えている。さまざまな年齢や立場の方々が計画策定に参加することで、その地域ごとの特徴を持ち、愛着を感じてもらおう公園づくりをしていきたい。

問 現在、刈谷市メール配信サービスを運用しているが、災害時でも通信規制を受けないエリアメールを導入予定である。
問 文書の非常持ち出しを始めたとする文書管理は、どのようになっているのか。
答 平成20年から文書の整理

平成20年から文書の整理

議会トピックス

■愛知県市議会議長会副会長に就任

2月5日に碧南市で開催された愛知県市議会議長会の定期総会において、刈谷市議会議長が副会長に就任しました。任期は平成23年2月までとなります。今後、愛知県の各市議会が協同して、市政に関する諸般の事項を調査、研究し、都市の発展繁栄を目指します。

■議員研修会を実施

2月9日、法政大学法学部教授の廣瀬克哉氏を招き、「議会改革の課題と議会基本条例の意義」と題し、議会基本条例に関する研修を開催しました。

近年、全国的に多くの自治体が議会基本条例を策定している中、自治体議会改革フォーラムを立ち上げ、各市で自治体改革のための活動をされている廣瀬教授から、議会基

整頓に取り組んでいるが、十分とは言えないので、継続して文書の整理整頓を徹底していく。

問 庁内のセキュリティはどうなっているか。
答 市民にわかりやすく親しまれる庁舎を基本理念に、執務室をオープンな見通しの効く空間とする一方、接客カウンターにより空間を明確に分け個人情報

また、情報システム室や契約検査室、会計課等は、区画された部屋とし、特別職室や議会関連の部屋についても、防犯セキュリティに配慮した部屋となっている。



新庁舎イメージ図

本条例を策定する意義について研修するとともに、議会の機能や役割について改めて認識しました。今後、市民の期待に応えられるように、皆さんに努めます。

■交通安全キャンペーン
春の交通安全運動に合わせ刈谷駅でキャンペーンを実施しました。「自転車もマナーアップ（マナーUP）」と銘打ったアップルパイを配布し、自転車の安全利用を呼びかけました。



議会基本条例の意義を研修